



自然の中で同じ色をさがしてみよう

身近な「色」から自然のフシギを知ろう。

自然の中から同じ色を見つけてみよう。



ツマベニチョウの保護色(ほごしょく)は、身を守るためにある。

生き物の色には、きちんとした理由があるんだ。例えばチョウの幼虫は、葉っぱの色と同じような緑色なんだよ。これは、「保護色」と言われていて、外敵から身をかくすために長い年月をかけて身につけたオドロキの方法なんだ。



警戒色(けいかいしょく)は、敵をおどろかすためにある。

ツマベニチョウの幼虫のおなかにあるオレンジ色は、葉っぱの上ではとても目立つ色だよね。これは、外敵から身をかくす保護色とは正反対で、近づいてくる外敵をおどろかすための警戒色と言われているんだよ。

エコサイクリングなら、景色の色をゆっくり見ながら、自然の奥深さを学べるね。

赤

青

を自然の中でさがして
“色の意味”を考えてみよう!

